

血算値判読の極意

血球数算定(血算)は、最も頻繁に行われる検査の1つです。したがって、医師や看護師、あるいは臨床検査技師にとって、血算値の判読は必要不可欠な基本的作業であり、誰でもある程度の血算値の判読はできるでしょう。

しかし血算値の判読はなかなか奥が深いものです。血算値について通り一遍の利用はしていても、その情報は100%活用している医療人は決して多くないと考えます。血算値から読み取れる情報は広範であり、これを利用できれば非常に多くの有用な情報が得られます。本特集では、血算値を徹底的に利用するための know-how が示されています。さらに自動血球計数機が提供する未活用の情報についても、そのポテンシャルが語られています。血算値がもたらす情報の十分な活用に向け、本特集がその一助となることを望む次第です。

(佐藤 尚武)